

G空間とICTを活用した新しい観光を考える

～北陸ICT利活用普及促進セミナー～

北陸新幹線金沢開業を控え、様々な面で北陸地域が注目されている中、G空間情報とICTを活用した観光新時代をテーマに、北陸情報通信協議会G空間×ICT街づくり推進部会は北陸総合通信局と共催で2月17日（火）、120名の参加を得て富山市でセミナーを開催しました。

セミナーでは二つの講演と三つの事例紹介があり、一つ目の講演では国際ビジネス学院 学院長大藪 多可志氏が観光を活用した日本の課題解決や観光客誘致に不可欠なこと、また北陸新幹線金沢開業による北陸地域の観光への影響などをテーマに講演され、今後、北陸の振興にはG空間とICTの利活用が必要であるとお話されました。



国際ビジネス学院 学院長大藪 多可志氏講演



二つ目の講演では、総務省 地域通信振興課 地域情報通信振興支援官 片桐 広逸氏から、現在政府が推進する「地方創生」に貢献している地域ICT利活用事業モデルケースの紹介に加え、政策面からG空間やICTを活用し地方を活性化する方策の検討状況をご説明いただきました。

地域情報通信振興支援官
片桐 広逸氏講演

事例紹介では、（独）情報通信研究機構 先進的音声翻訳研究開発推進センター 統括 内元 清貴氏から、多言語音声翻訳について、（株）ATR Creative チーフプロデューサー 高橋 徹氏からは、空間情報に既存の地図データをあわせ、それらをフル活用したアプリ「ちずぶらり」を、また（公財）京都高度技術研究所 情報事業部 担当部長 山内 英之氏からはICTを活用した京都の交通政策支援を中心にデモを含めた説明をいただき、それぞれ、今後のさらなる展開についても伺うことができました。

参加された方々には、北陸新幹線金沢開業後、新たな展開が予想される北陸地域の観光へのICT利活用について理解を深めていただきました。



事例紹介1
（独）情報通信研究機構
統括 内元 清貴氏



事例紹介2
（株）ATR Creative
チーフプロデューサー
高橋 徹氏



事例紹介3
（公財）京都高度技術研究所
担当部長 山内 英之氏



北陸総合通信局
星 克明局長 あいさつ